

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！

節約志向さらに強まる！帰省交通費は過去最低の26,000円台へ続落！

帰省の手段は、高速道路利用者が2年連続5割超！

今年もやっぱり「自宅でゆっくり」！出費を避けるために“巣ごもる夏”

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

○帰省の費用と交通手段（詳細は4～5ページ参照）

■**節約志向が鮮明に！帰省交通費は続落、過去最低の26,000円台！**

おみやげ代を含めた帰省費用も下落加速！4万円を大きく割り込む！

■**帰省の手段は、『高速道路利用』が2年連続5割超！**

- ・帰省にかかる平均交通費は、3万円割れした昨年から、今年は調査以来最低の26,352円まで続落。
- ・おみやげ代も含めた平均帰省費用についても、36,423円と過去最低。減少幅最大は、「子供あり世帯」で6,000円以上の減少。
- ・帰省の交通手段は、昨年に引き続き『高速道路利用』が50.2%のトップ。『飛行機』や『新幹線』が落ち込むなか、高速道路利用人気は、ETC割引と高速道路無料化が影響？

○今年の夏休み（詳細は6～10ページ参照）

■**ダントツの6割以上！夏休みの過ごし方 今年もやっぱり『自宅でゆっくり』**

“巣ごもる夏”理由のトップは『出費がかさむので』急上昇で5割を突破！

■**「おひとりさま」「おふたりさま」は“プチ贅沢”でレジャーが増加！**

- ・夏休みの過ごし方は、『自宅でゆっくり』が61.8%とダントツのトップ。2位は、『帰省』の38.2%。
- ・『自宅でゆっくり』のみと回答した人の理由のトップは、『出費がかさむので』が17.1ポイント増加の5割超（53.4%）。今年は“巣ごもる夏”？
- ・節約志向が鮮明のなか、「子供なし世帯」が、『自宅でゆっくり』で13.9ポイントの大幅減少の一方、『国内旅行』で9.5ポイント、『海外旅行』で6.1ポイントの増加。「未婚者」も『アウトドア』『プール・遊園地・テーマパーク』で5ポイント以上増加となるなど消費拡大の傾向。

○環境問題（冷房の設定温度について）（詳細は11ページ参照）

■**節約志向に逆行？「27℃以下」世帯割合は58.7%で2年連続増加！**

- ・猛暑の影響？節約志向が高まるなかでも、冷房にかける電気代は高止まり。

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2010年7月9日(金)～7月12日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,074人

6. 回答者の内訳

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	135	132	134	145	546
女性	129	133	136	130	528
計	264	265	270	275	1,074

【目次】

1. 帰省の費用と交通手段	
(1) 帰省の費用	(4 ページ)
節約志向が鮮明に！帰省交通費は続落、過去最低の26,000円台！ おみやげ代を含めた帰省費用も下落加速！4万円を大きく割り込む！	
(2) 帰省の交通手段	(5 ページ)
帰省の手段は、高速道路利用者が2年連続5割超！	
2. 今年の夏休み	
(1) 夏休みの過ごし方	(6 ページ)
夏休みの過ごし方 ダントツ！6割以上が「自宅でゆっくり」 “巣ごもる夏”理由のトップは「出費がかさむ」急上昇で5割を突破！	
(2) 家族構成別で見た夏休みの過ごし方	(7 ページ)
「おひとりさま」「おふたりさま」は“プチ贅沢”！	
(3) 夏休みに使うお金	(8 ページ)
夏休みの予算は家族構成で格差 「子供あり世帯」のお財布は、引き続き「引き締め」	
(4) 自宅での過ごし方	(9 ページ)
「テレビ」はやっぱり娯楽の王道！ 「イクメン」変身で夫婦円満、いっそう楽しい夏休みが実現？	
(5) 夏休みの日数	(10 ページ)
理想は「11.9日」、でも現実…「8.1日」	
3. 環境問題（冷房の設定温度について）	(11 ページ)
節約志向に逆行？「27℃以下」世帯割合は58.7%で2年連続増加！	

1. 帰省の費用と交通手段

(1) 帰省の費用

**節約志向が鮮明に！帰省交通費は続落、過去最低の26,000円台！
おみやげ代を含めた帰省費用も下落加速！4万円を大きく割り込む！**

- ・ 帰省シーズンのこの時期、帰省費用（交通費+おみやげ代）について聞いてみました。
- ・ 全体の平均交通費は26,352円と、リーマンショック以降、2年連続で減少。2008年の調査の32,997円から、昨年は3万円を割り、今年はさらに下落。2006年の本調査開始以来、過去最低の水準となりました。
- ・ 家族構成別で見ると、「未婚者」や「子供なし世帯」の平均交通費は横ばいだった一方、「子供あり世帯」は27,702円と、昨年から約5,000円（約15%）減少し、初めて3万円を割りました。
- ・ おみやげ代を含めた全体の平均帰省費用も36,423円と、4万円を大きく下回り、過去最低となりました。
- ・ しかし、家族構成別で見ると、「未婚者」や「子供なし世帯」のおみやげ代は、昨年に比べそれぞれ3割以上増加したことから、平均帰省費用も増加しています。「未婚者」や「子供なし世帯」は、消費回復に向けた動きが出てきているようです。
- ・ 一方、「子供あり世帯」は、「平均交通費」「平均おみやげ代」ともに節約しているため、38,199円と約6,000円以上の減少となりました。まだまだ家計の厳しさは続き、「節約」と「倹約」に対する意識の高さがうかがえます。

Q. 帰省の費用はいくらですか。

	平均交通費			平均おみやげ代			平均帰省費用		
	(円)	2009年	2008年	(円)	2009年	2008年	(円)	2009年	2008年
全体	26,352	29,286	32,997	10,071	10,211	9,219	36,423	39,497	42,216
未婚計	22,931	22,846	21,079	8,483	6,447	6,123	31,414	29,293	27,202
既婚計	26,916	31,404	37,955	10,332	11,449	10,506	37,248	42,853	48,461
既婚子供なし計	21,119	21,615	31,830	9,119	6,923	9,142	30,238	28,538	40,972
既婚子供あり計	27,702	32,543	39,654	10,497	11,976	10,885	38,199	44,519	50,539

▲2,934円
(前年比10.0%減)

+2,036円
(前年比31.6%増)

▲3,074円
(前年比7.8%減)

▲4,841円
(前年比14.9%減)

+2,196円
(前年比31.7%増)

▲6,320円
(前年比14.2%減)

* 帰省すると回答した人ベース

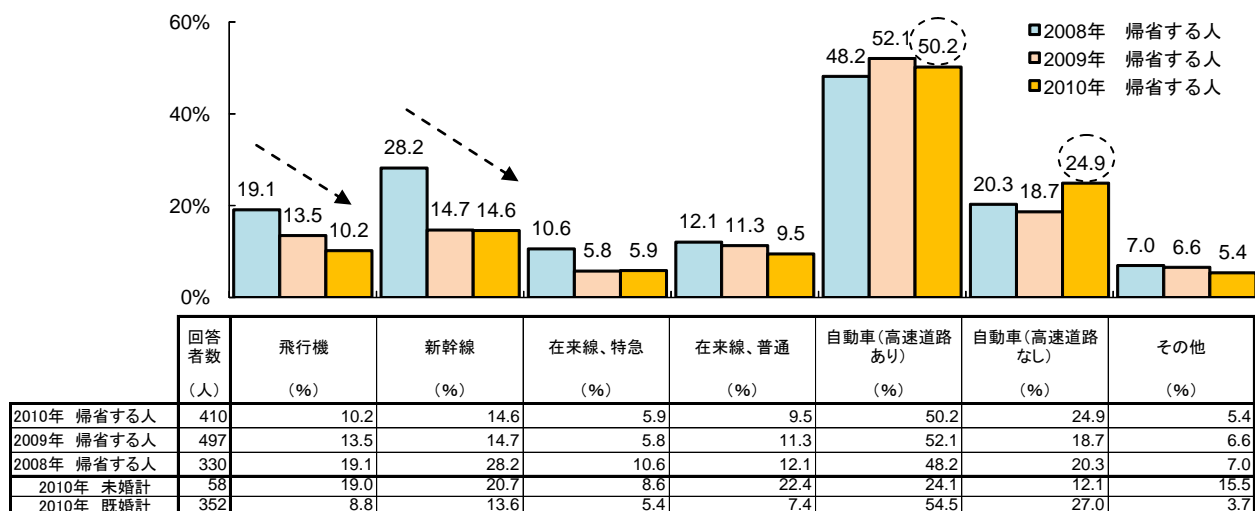
1. 帰省の費用と交通手段

(2) 帰省の交通手段

帰省の手段は、高速道路利用者が2年連続5割超！

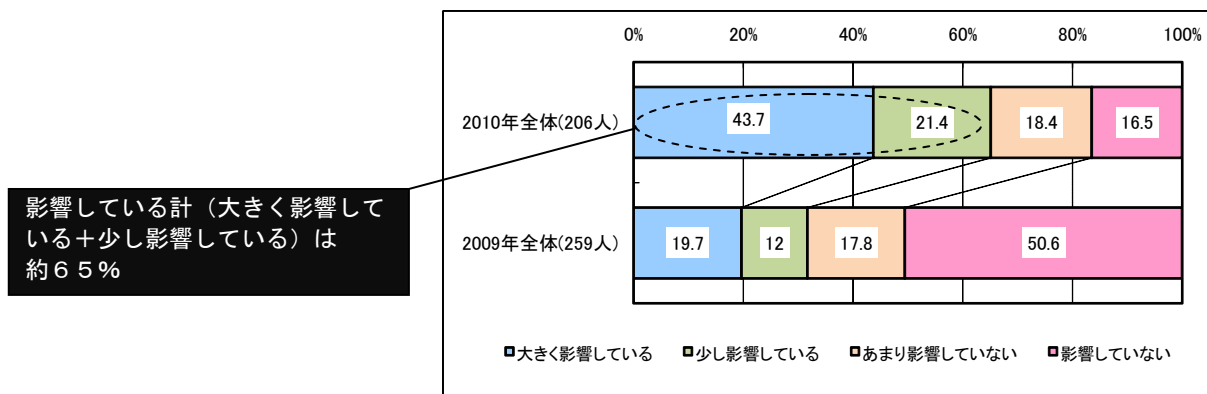
- 次に、帰省の交通手段について聞いてみました。
- トップは『自動車（高速道路あり）』（50.2%）と、2年連続で半数を超えました。2位の『自動車（高速道路なし）』（24.9%）も昨年から増加しており、マイカーによる帰省は今年も主流のようです。
- 一方、2008年の調査から比べると、『新幹線』（14.6%）が13.6ポイント減少、『飛行機』（10.2%）が8.9ポイント減少するなど、公共交通機関の利用が大きく減っています。
- 帰省交通費の節約や儉約に向け、帰省交通手段は大きく変化してきています。ETC割引利用の定着と同時に、今年は、6月から始まった高速道路無料化の社会実験が加わるため、マイカー帰省にますます拍車がかかりそうですね。

Q. 帰省手段として、何を使いますか。（複数回答）



* 帰省すると回答した人ベース

Q. 高速道路を利用するのはETC割引が影響していますか。



影響している計（大きく影響している+少し影響している）は約65%

* 自動車（高速道路あり）で帰省すると回答した人ベース

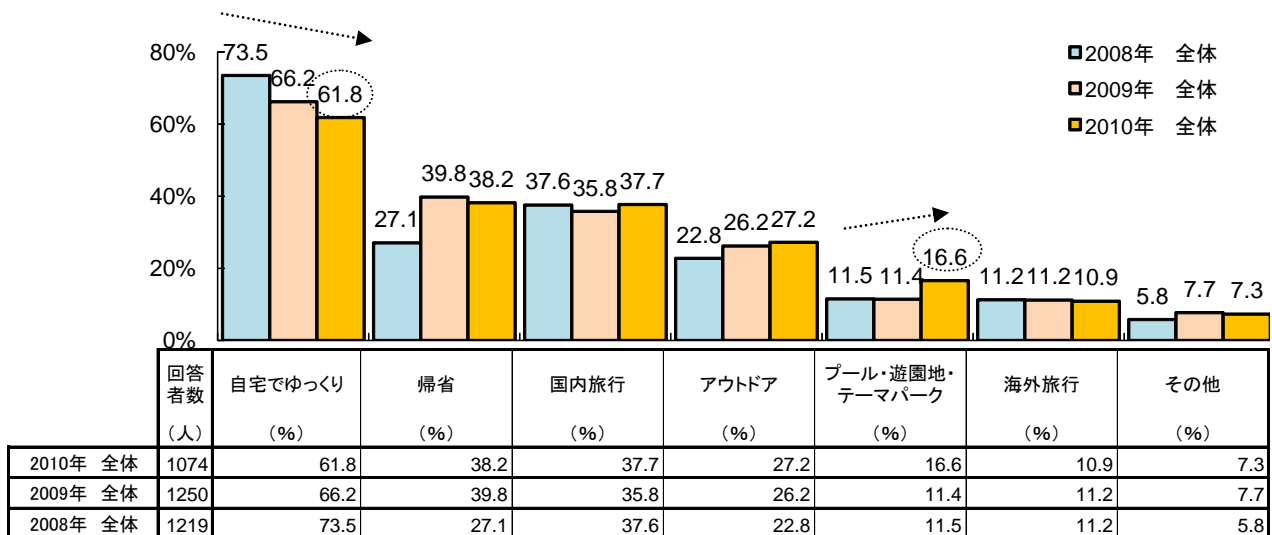
2. 今年の夏休み

(1) 夏休みの過ごし方

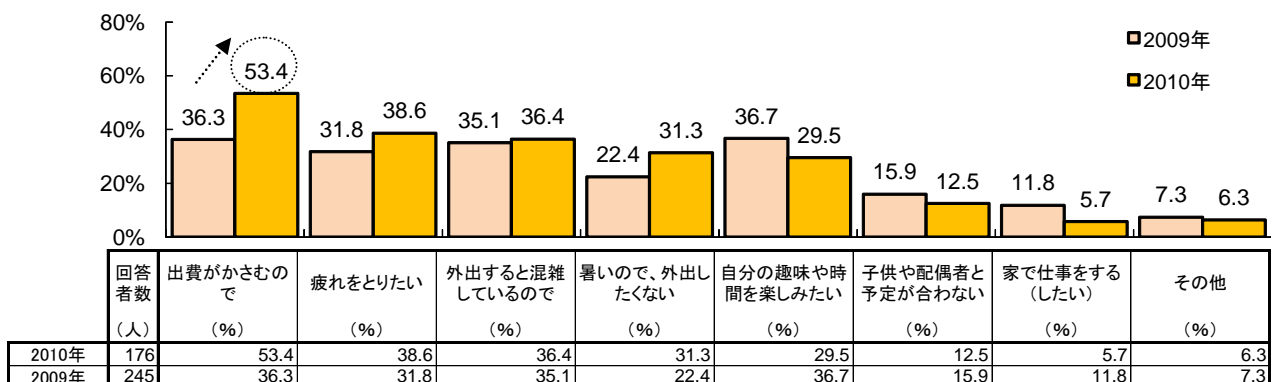
**夏休みの過ごし方 ダントツ！6割以上が「自宅でゆっくり」
“巣ごもる夏” 理由のトップは「出費がかさむ」 急上昇で5割を突破！**

- 夏休みの過ごし方について聞いてみました。
- 今年も『自宅でゆっくり』が61.8%で2位の『帰省』を大きく引き離してのトップとなっています。
- また、『自宅でゆっくり』のみと回答した、いわゆる「巣ごもり族」に、その理由を聞いてみると、『出費がかさむので』がなんと17.1ポイント増の5割超(53.4%)。景気回復の兆しが見えつつあるといわれていますが、景気の先行き不透明感と、それにとともなる将来に対する不安感からか、家計は引き締め気味の様です。
- 一方、今年の特徴として、『プール・遊園地・テーマパーク』が約5ポイント増加しています。連日の猛暑の影響もあるのでしょうか、あまりお金をかけずにせめて近場で楽しもうという人は増えてきているようです。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください。(複数回答)



Q. 『自宅でゆっくり』のみを回答した方の理由は。(複数回答)



* 自宅でゆっくりのみと回答した人ベース

2. 今年の夏休み

(2) 家族構成別で見た夏休みの過ごし方

「おひとりさま」「おふたりさま」は“プチ贅沢”！

- 6 ページのとおり、今年の夏休みの過ごし方は、『自宅でゆっくり』がトップでしたが、3年連続で減少しています。
- それでは、この夏休みをどういった人たちが、自宅から飛び出してアクティブに楽しもうと考えているのでしょうか。そこで、夏休みの過ごし方を家族構成別に見てみました。
- 「子供なし世帯」では、『自宅でゆっくり』が13.9ポイントも減少し、『国内旅行』が9.5ポイント、『海外旅行』が6.1ポイントと増加しているのがわかります。
- また、「未婚者」でも、『プール・遊園地・テーマパーク』で8.7ポイント、『アウトドア』で6.0ポイント、『国内旅行』で4.6ポイント増加しています。
- 今年の夏休みは「プチ贅沢」でレジャー。これからの日本経済を牽引していくのは、こうした「おひとりさま」や「おふたりさま」なのかもしれませんね。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください。(複数回答)

	回答者数		自宅でゆっくり		帰省		国内旅行		アウトドア		プール・遊園地・テーマパーク		海外旅行		その他	
	2010年 (人)	2009年 (人)	2010年 (%)	2009年 (%)	2010年 (%)	2009年 (%)	2010年 (%)	2009年 (%)	2010年 (%)	2009年 (%)	2010年 (%)	2009年 (%)	2010年 (%)	2009年 (%)	2010年 (%)	2009年 (%)
全体	1074	1250	61.8	66.2	38.2	39.8	37.7	35.8	27.2	26.2	16.6	11.4	10.9	11.2	7.3	7.7
未婚計	233	357	62.7	63.6	24.9	34.5	39.1	34.5	29.2	23.2	20.2	11.5	10.7	16.8	12	11.2
既婚計	841	893	61.6	67.3	41.9	41.9	37.3	36.4	26.6	27.3	15.6	11.4	10.9	9	5.9	6.3
既婚子供なし計	106	95	56.6	70.5	39.6	41.1	35.8	26.3	22.6	21.1	3.8	7.4	19.8	13.7	7.5	5.3
既婚子供あり計	735	798	62.3	66.9	42.2	42	37.6	37.6	27.2	28.1	17.3	11.9	9.7	8.4	5.7	6.4

13.9ポイント
減少！

9.5ポイント
増加！

6.1ポイント
増加！

2. 今年の夏休み

(3) 夏休みに使うお金

**夏休みの予算は家族構成で格差
「子供あり世帯」のお財布は、引き続き「引き締め」**

- ・ 夏休みに使うお金について聞いてみました。
- ・ 全体では、昨年から微増の86,159円にとどまっており、まだまだ財布のヒモは固いようです。
- ・ 家族構成別に見てみると、「未婚者」は79,163円と昨年から約10%増、「子供なし世帯」は78,774円と約6%増加しているのに対し、回答者全体の約7割を占めている「子供あり世帯」は89,442円で約3%減となっています。
- ・ 景気回復の兆しが見えつつあるといわれていますが、「子供あり世帯」では、教育費負担や雇用不安など将来に対する不安感が強いのでしょうか、節約志向が高いようです。
- ・ ちなみに、6ページでふれた『自宅でゆっくり』のみと回答した、いわゆる「巣ごもり族」の予算は、『出費がかさむので』が最多理由となっていたとおり、昨年より3割以上カット(25,670円)の緊縮財政となっています。

Q. 夏休みに使うお金はいくらですか。

	2010年平均		2009年平均
	(円)	予算増減	(円)
全体	86,159	↗	84,736
未婚計	79,163	↗	71,594
既婚計	88,098	↘	89,990
既婚子供なし計	78,774	↗	73,979
既婚子供あり計	89,442	↘	91,896

<参考>

<自宅でゆっくりのみと回答した人が夏休みに使うお金>

○2010年

	回答者数 (人)	平均 (円)
夏休みの過ごし方(全体)	1,074	86,159
自宅でゆっくり過ごす人 全体	664	62,378
自宅でゆっくりのみの人	176	25,670

○2009年

	回答者数 (人)	平均 (円)
夏休みの過ごし方(全体)	1,250	84,736
自宅でゆっくり過ごす人 全体	828	75,173
自宅でゆっくりのみの人	245	38,090

2. 今年の夏休み

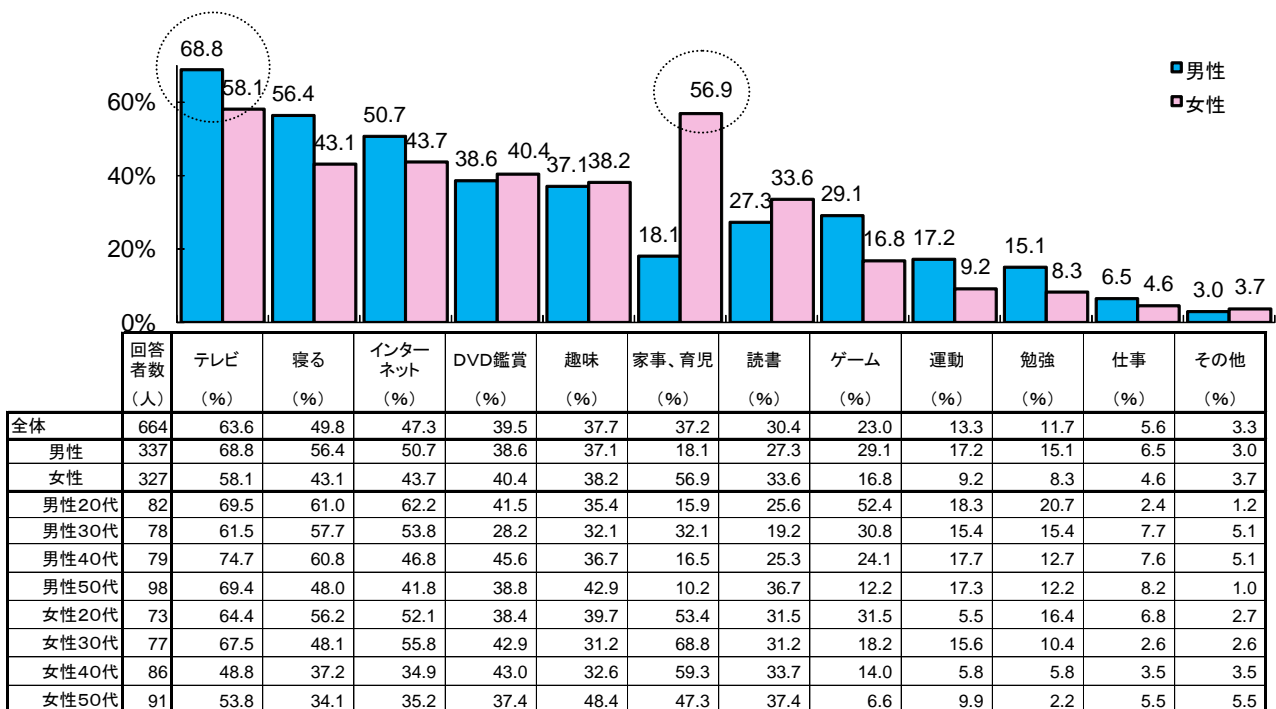
(4) 自宅での過ごし方

「テレビ」はやっぱり娯楽の王道！

「イクメン」変身で夫婦円満、いっそう楽しい夏休みが実現？

- それでは、6 ページで触れた『自宅でゆっくり』と回答した人は、何をして過ごすのでしょうか。
- 全体の6割以上が『テレビ』を選択。趣味や娯楽が多様化した現代においても、やはり、お金のかからない『テレビ』は、時代をこえて娯楽の王道のようです。
- しかし、男女別で見ると事情は異なるようです。男性は、『テレビ』が68.8%でトップ、以下『寝る』(56.4%)『インターネット』(50.7%)が続いており、本当にゆっくりと過ごそうと考えているようです。
- 女性も『テレビ』が58.1%でトップですが、2位は僅差で『家事・育児』(56.9%)となっており、なかなかゆっくりできない現実があらわれています。
- 昨今話題の「イクメン」(育児を積極的にする男性)については、厚生労働省もプロジェクトで推進しているようですが、今年の夏休みを機に、男性も育児や家事を積極的に行なうことで、よりいっそう良い夏休みが過ごせるかもしれませんね。

Q. 自宅で何をして過ごしますか。(複数回答)



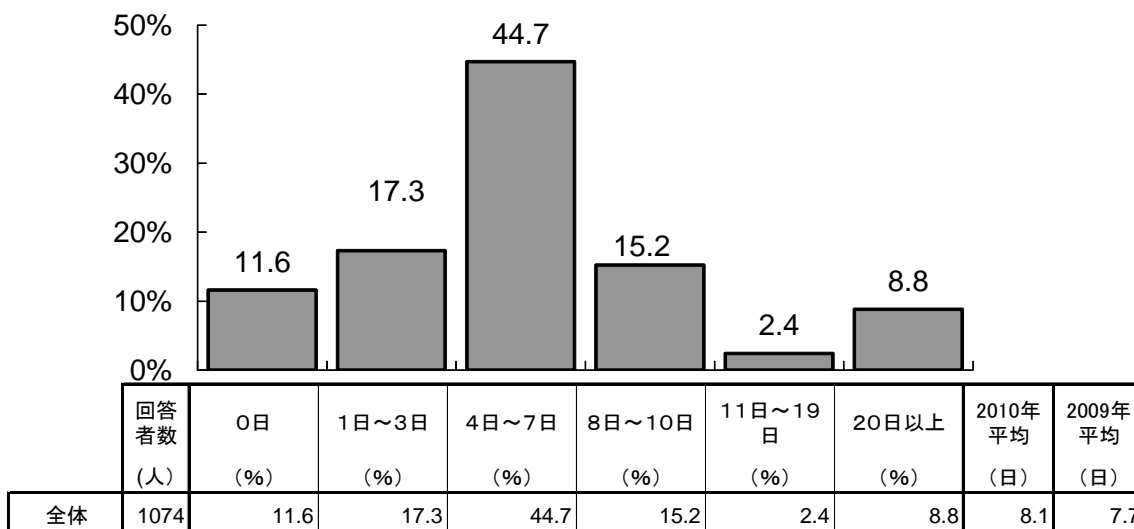
* 自宅でゆっくりと回答した人ベース

2. 今年の夏休み
 (5) 夏休みの日数

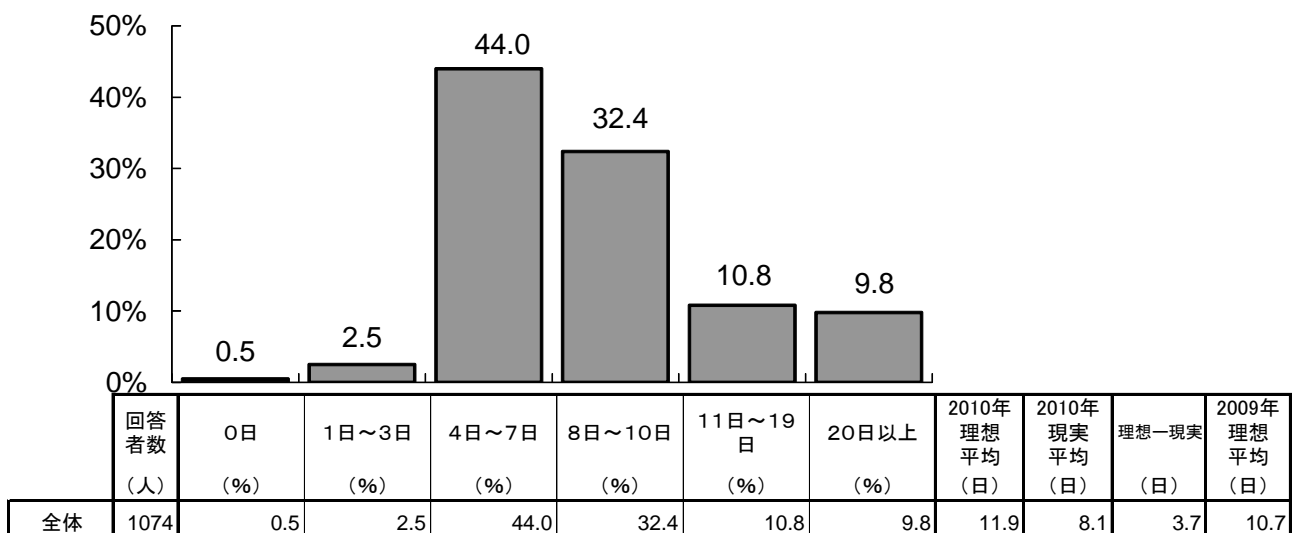
理想は「11.9日」、でも現実には…「8.1日」

- ・ 今年も夏休みの日数の現実と理想について聞いてみました。
- ・ 今年の夏休みの平均日数は、土日を含め「8.1日」と昨年にくらべ微増しました。
- ・ 一方、理想の夏休みの平均日数も「11.9日」と、昨年より「1.2日」長くなり、理想と現実の差は、昨年の「3.0日」から「3.7日」とやや広がりました。

Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか。(土日も含め連続しての日数)



Q. あなたの理想とする夏休みの日数は何日ですか。(土日も含め連続しての日数)



3. 環境問題（冷房の設定温度について）

節約志向に逆行？「27℃以下」世帯割合は58.7%で2年連続増加！

- ・ 電力をたくさん使用する夏は、環境問題がよくとりあげられ、さまざまな事業所や百貨店等でも環境省が推奨する「28℃」に冷房温度を設定しているところが増えています。
- ・ そこで、冷房の設定温度について聞いてみました。
- ・ 今年の平均設定温度は「26.5℃」でしたが、冷房設定温度の分布をみると、「27℃」以下に設定している割合は58.7%。2008年の調査（47.3%）から10ポイント以上増加しています。
- ・ 帰省や夏休みに使う費用については、節約志向が高まる一方、冷房にかかる電気代は高止まりしているようです。これは今年の猛暑の影響でしょうか。

Q. 冷房の設定温度は何度ですか。

